

平成19年新司法試験の結果

平成19年9月13日
法務省大臣官房人事課

1 合格者数等

(1) 合格者数 1,851人

(参考)

- ・ 出願者数 5,401人
- ・ 受験予定者(出願者中、法科大学院を修了した者)の数 5,280人
- ・ 受験者数 4,607人(うち途中欠席10人)
- ・ 短答式試験の合格に必要な成績を得た者の数 3,479人

(2) 合格判定

論文式試験の各科目において、素点の25%点(公法系科目・刑事系科目は50点,民事系科目は75点,選択科目は25点)以上の成績を得た者のうち、短答式試験の得点と論文式試験の得点による総合評価の総合点925点以上の1,851人を合格者とする(平成19年9月12日司法試験委員会決定)

(3) 合格者の選択科目別人員・割合

倒産法	456人(24.6%)
租税法	100人(5.4%)
経済法	175人(9.5%)
知的財産法	298人(16.1%)
労働法	591人(31.9%)
環境法	97人(5.3%)
国際関係法(公法系)	30人(1.6%)
国際関係法(私法系)	104人(5.6%)

(4) 総合評価対象者 3,408人

短答式試験の合格に必要な成績を得た3,479人のうち、71人は、最低ライン点に達しない科目があるため、総合評価の対象外

(5) 総合点

- ・ 最高点 1398.83点
- ・ 最低点 586.32点
- ・ 平均点 941.69点

(6) 合格者の年齢別構成

- ・ 平均年齢 29.20歳
- ・ 最高年齢 56歳
- ・ 最低年齢 24歳

(7) 合格者の性別構成

- ・ 男性 1334人(72.07%)
- ・ 女性 517人(27.93%)

(8) 合格者の司法試験受験回数

- ・ 1回目 1250人
- ・ 2回目 525人
- ・ 3回目 76人

対象となる司法試験は、平成16年度旧司法試験,平成17年度旧司法試験,平成18年度旧司法試験,平成18年新司法試験及び平成19年新司法試験である。

(9) 合格者の既修・未修別

- ・ 既修者法学部 1 0 9 6 人
- ・ 既修者非法学部 1 2 0 人
- ・ 未修者法学部 3 4 3 人
- ・ 未修者非法学部 2 9 2 人

受験願書に基づく情報。

2 論文式試験結果

(1) 論文式試験採点対象者 3, 479人

短答式試験の各科目において、満点の40%点（公法系科目40点，民事系科目60点，刑事系科目40点）以上の成績を得た者のうち，各科目の合計得点が210点以上の成績を得たもの（平成19年6月6日司法試験委員会決定）

(2) 得点

- ・ 最高点 636.89点
- ・ 最低点 176.96点
- ・ 平均点 393.91点

(3) 科目別得点等

試 験 科 目		最 高 点	最 低 点	最低ライン 点未満(人)
公 法 系 科 目		1 6 4 . 2 3	2 7 . 9 9	3 8
民 事 系 科 目		2 7 1 . 7 7	4 1 . 7 8	6
刑 事 系 科 目		1 6 2 . 6 3	2 2 . 7 9	5
選択科目	倒 産 法	8 3 . 6 5	1 5 . 3 2	1 7
	租 税 法	7 1 . 7 4	2 3 . 7 2	
	経 済 法	7 6 . 6 7	1 3 . 4 7	1
	知 的 財 産 法	8 4 . 2 7	1 6 . 4 6	2
	労 働 法	8 4 . 3 1	1 7 . 4 0	1
	環 境 法	7 9 . 2 8	1 9 . 3 8	2
	国際関係法(公法系)	6 7 . 8 1	2 8 . 6 6	
	国際関係法(私法系)	7 0 . 8 5	1 9 . 0 2	3
最低ライン点未満実人員				7 1

(注) 最低点については，無効答案，白紙答案を除く。

3 参考資料

- ・ 平成19年新司法試験総合点別人員調（総合評価）
- ・ 平成19年新司法試験論文式試験得点別人員調（合計得点）
- ・ 平成19年新司法試験論文式試験得点別人員調（公法系科目）
- ・ 平成19年新司法試験論文式試験得点別人員調（民事系科目）
- ・ 平成19年新司法試験論文式試験得点別人員調（刑事系科目）
- ・ 平成19年新司法試験論文式試験得点別人員調（選択科目）